自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は、施設内のホール等に掲示し、職員が理解、再確認できるようにしている。職員同士で共有することで理念に沿ったケアに取り組めるように努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員として町内会に加入し、コミュニティ協議会や玉江校区社会福祉協議会等に参加し、地域に関する情報を共有している。また、校区の文化祭に提出し、利用者も文化祭を見に行き交流を図っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	相談、見学に来られたご家族や地域の方々に対し支援の方法や介護保険、サービス利用時の説明・案内を行い、認知症の理解が深まるように取り組んでいる。必要に応じて他施設の紹介等を行い、地域貢献に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ5類への移行後、コロナ等の感染予防対策を行い、ホーム内で利用者、ご家族、職員が参加した会議を再開し、ホームの状況報告や意見や要望を受け止め、改善を行うことでサービス向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>日頃より伊敷支所、鹿児島市役所や地域包括支援センターの職員や生活保護担当との連携を図り情報交換を行い、協力関係を築き連携を深めている。本年度は実地指導を実施、適正に運営されていると評価を受ける。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束委員会を設置し、毎月会議を開催。会議の内容については、職員全員で情報共有し再確認や理解を深め、身体拘束のないケアの実践に努めている。玄関はセンサーを設置し安全を確認したうえで必要以上に施錠しないよう取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止委員会を設置し、毎月会議にて、現在利用者の中で虐待に繋がってしまいそうな困難事例がないか検討している。会議の内容については、職員全員で情報共有し、虐待について理解を深め、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>当ホームでも成年後見制度を利用している方がおられる為、身近な事として理解をしている。また、事業所内の研修においても成年後見人制度の理解をより深められるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や制度改正時等には、入居者のご家族に分かりやすい言葉で丁寧な説明に心掛け、理解、合意を得られるように努めている。契約書等は2部作成し、同意の署名捺印を頂き、1部は交付している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者やご家族が、職員に対し意見や要望を伝えやすいように傾聴の姿勢を指導している。また、遠慮なくご意見を頂けるように1階玄関入り口に意見箱を設置している。定期的に検討・反省し、より良い運営となるよう努めている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各階で毎月のミーティングを開催し、職員間で各利用者の状態・問題点等の意見交換・検討を行い、支援改善の実施に努めている。また、職員が意見を自由に言える雰囲気づくりにも努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的に職員の資格取得に向けた情報の提供・支援を行い、取得後は労働条件・給与に反映させ、やりがいがある配慮や対応に心掛けている。また、休み希望についても尊重しながら勤務を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的に事業所内での研修を行い、ケアの質の向上を図れるよう取り組んでいる。また、外部研修に関しても職員の学びたいという思いや意欲の向上に繋がるよう、掲示等にて情報の提供を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は管理者会議に参加し、交流や意見交換を行っている。また、法人内の他事業所に助勢という形で交流する機会を設け意見・情報交換を行い、事業所のサービス向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に施設の見学や面談を行い、困りごと・不安な事・要望を聞き取り、信頼関係が構築出来るよう努めている。また、アセスメントを行い生活歴等の情報収集をし、職員間で情報共有を行い、本人の意向が実現できるように取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人同様にご家族に関しても同じように見学や面談を行い、不安や要望等について傾聴し、当ホームだけではなく他サービスへの紹介等も考慮しながら、信頼関係を築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前に情報やアセスメントを行う中で、本人・家族にとって何がよりよいか見極め、訪問診療、歯科の訪問診療、マッサージ、訪問診療、訪問理容、マッサージ等、必要なサービスが提供出来るように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の出来ること、好むことを知り、家事参加等を一緒に行うことで役割を持ち、互いに支えあえる信頼関係を築き、円滑なコミュニケーションが図れるような支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入所後も適度な距離感で家族も介護者として関わりを持ち続け、お互いが大切に思いあえるように努めている。また、家族と職員は共に利用者を支える支援者として協力し合える関係づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ5類への移行後、コロナ等の感染予防対策を行ながら、玄関や交流室での対面での面会を実施している。また、小野の里だよりを毎月発行し、家族との関係性が途切れないように努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者が過ごしたい場所で過ごせるようにしている。ほとんどの方がホールで過ごされ、一緒にテレビを見たり、談笑され、お互い顔なじみとなりよい関係性を築けている。交流が難しい方へは職員が橋渡しとなり関係性の構築に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約を終了、他ホームへの移動、入院等された入居者でも退居後も経過を確認したり、再入居他サービスの紹介等を行い、入居中と変わらない支援に努め、関係性を繋いでいけるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思い意向、または意思の確認が困難な場合でもご家族からの聞き取りや本人の表情や仕草等から少しでも思いをくみ取り、本人の望む暮らしに近づけられるように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に本人や家族、または前施設から情報収集し状況把握に努め、入居の際は写真や馴染みのも物を持参して頂き、入居者との関わりの中で生活歴や生活習慣、背景にあるものを把握出来るよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察・記録の中の情報収集や申し送り、毎月のミーティング等で情報を共有出来るように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月ミーティングで利用者の情報を共有し、モニタリングやカンファレンスにより課題や意見を出し合い、本人や家族の意見も取り入れ現状に合ったより良いケアプランの作成に繋げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日勤から夜勤、夜勤から日勤への切れ目のない申し送りや個々のケース記録、業務日誌等で情報の共有している。また、往診や受診時のドクターからの指示や助言はケース記録と支援記録に記録すると共に、職員間で情報交換・共有する事で介護計画の見直しに反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要な他科受診や家族の支援が困難な際には事業所で対応している。また、本人の状況に合わせて食事の形態や時間の変更、居室の模様替え等を行い、柔軟な対応に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ5類への移行後、コロナ等の感染予防対策を行い、要望に応じて訪問マッサージや訪問理容を受け、気持ちよさや満足を得られるように努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を大切に納得が得られたかかりつけ医の選択を行っている。協力病院を利用されている入居者は往診で状態を診て頂き、ドクターの指示を仰いでいる。家族同行での受診の際は、情報提供、受診結果の交換を行い、情報を周知している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	全職員で体調管理をし、体調の変化や気づきがある時には記録に残し、往診時や受診時に主治医に報告出来るようにしている。緊急時は主治医に連絡し指示を仰げる体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	利用者が入院した場合、入院当日に介護サマリーの作成を行い、入院された病院に情報提供を行っている。また電話にて状態交換も行っている。退院直前のカンファレンスに参加し、情報の共有を行うと共にケアプランに反映している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合や終末期の対応について説明している。また利用者の状況が悪化した場合には、可能な限り事業所にて支援を行い、状況悪化の際には医療機関との連携、情報共有を行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルがありそれに沿って対応出来るように職員間で共有を行っている。緊急連絡網も作成してあり職員が直ぐ目につく場所に掲示してある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時に即行動出来るように消防署の方からの助言も受けながら防火訓練を定期的に行っている。緊急時対応マニュアルと緊急連絡網を作成し掲示しており、職員全員が把握出来るように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の人格や生活歴を把握したうえで自尊心を傷つけないように心掛けて支援を行っている。声掛けや対応が不適切な場合には職員間で注意しあうように努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が気軽に思いや希望を表せるように関係性を築いている。また、傾聴することにより本人の希望を引き出せるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合を優先するのではなく個々のペースに合わせご本人の希望に沿った支援を行いよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	離床時、洗面、口腔ケア、等の整容を必ず行っている。入居時、今まで着用していた衣類を持参して頂き、更衣の際に声掛けを行いながら、着たい衣服を選べるよう努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の咀嚼、嚥下状態に合わせ食事形態を変更したり、入居者の誕生日や行事の際には特別メニューを設け、食事が楽しめるように工夫している。また入居者それぞれの能力の合わせ、お盆拭きの手伝いをして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各利用者の食事量や水分量は毎食後記録している。食事や水分摂取の低下等がある場合には主治医やご家族に相談しながら補助食品を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けや介助を行っている。必要な利用者には、歯科の訪問診療も入れ、口腔衛生に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	可能な限りトイレでの排泄して頂けるように本人の排泄リズムに応じたトイレの案内を行っている。また、排泄の記録も行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品（牛乳・ヨーグルト等）や食物繊維の摂れる食事の提供。水分摂取の少ない入居者には水分を促せるように、回数を増やしたり好みの飲み物を提供する等の配慮をしている。排便の滞りがないよう、下剤の調整等主治医との連携を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ゆっくりと入浴を楽しむことができるように毎日浴槽にお湯を張って準備をしている。その日の気分やペースに合わせて、曜日や時間帯はその都度臨機応変に対応している。また、失禁等で汚染がある時は、曜日に関係なく入浴を実施し清潔保持に努めている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、出来るだけ活動的に過ごしていただけるように、家事活動やレクリエーションを行い、夜間の安眠に繋がるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情を入居者別にファイルし服薬状況を把握している。薬の変更や中止になった際には、業務日誌や支援経過に記載して申し送りをし、職員全員が把握するように努めている。また、副作用等の注意事項の情報共有も行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみやお盆拭き等の家事活動やパズルや体操等のレクリエーション、季節ごとのイベントや誕生会等に参加されている。また、個々の興味のあることを傾聴し、その方にあった支援を行い、一人一人の役割や楽しみを見つけられるよう取り組んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ等の感染対策を行い、7月に外部食事を実施している。また、家族と一緒に病院受診の為、外出される方はおられる。また職員と同行の病院受診の際、ドライブを兼ねられるようにしている。外出は難しい方には、季節の花を準備し、気分転換が図れるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の管理はホームで行っており、現在はお金を自分で管理したいと言われる方はおられない。入居者より買い物の依頼があった際には、その都度購入している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>定期的に家族から電話連絡がある方はおられる。希望に応じて電話を利用出来るよう支援している。また、難聴で通話が聞き取りにくい場合には、職員が間に入り会話の手助けをしている。ご家族からの手紙が届いたら本人にお渡ししている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>環境整備に心掛け、季節を感じる事が出来るように展示物を張り替え、玄関やテーブルに季節の花を生けている。白内障・緑内障の方もおられる為、目に光の刺激がないようカーテンを閉めたり、座席の配置にも配慮している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間の中でテレビを見たり、外を眺めたりと思い思いに過ごされている。座席やテーブルだけでなく、ソファやリクライニングチェアを配置し、入居者同士でコミュニケーションが円滑に図れるような空間を作り提供している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れたダンスやテレビ、ハンガーラック等を搬入してもらい、自宅に近い居室作りに努めている。また、仏壇がある方も数名おられ、毎日朝晩、仏壇に手を合わせたり、お経を唱えられる方もおられる。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や浴室・トイレなどの手すりの設置、居室の床にジョイントマットを敷き怪我の軽減する事で立位や移動が安心して行え自立支援に繋がっている。また、居室やトイレ、浴室に表札や目印を付けたり、夜間はセンサーライトで廊下の移動に配慮している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	●	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		●	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	●	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	●	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		●	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		●	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		●	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	●	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		●	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		●	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		●	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		●	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		●	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない